



2人の (イベント編) お国自慢

リディア&京和

【インディ500】

アメリカ文化では、スポーツがとても大切にされています。全国で有名なスポーツ大会の一つは「インディ500」という自動車競技で、毎年5月に行われます。インディ500という名前は地元インディアナポリス市から来ていて、100年以上の歴史を持つレースです。インディ500のサーキットは世界で一番大きいスポーツ会場で、肝付町の人口の16倍のお客さんが入れます！長いレースなので、実はスポーツ

の試合より夏祭りの雰囲気があります。

お客さんは見ている間ピクニックをしていて、前日からサーキットの外でキャンプをしている人も多

いです。屋台の焼いた七面鳥の足を持って歩き回っている人を至るところで見

ます。インディアナポリス出身の私にとっ

て、インディ500は夏の始まりです！



リディア・ザンブラン

肝付町のCIR（国際交流員）として、パンフレット翻訳やFacebookで町のPRなどを行っている。

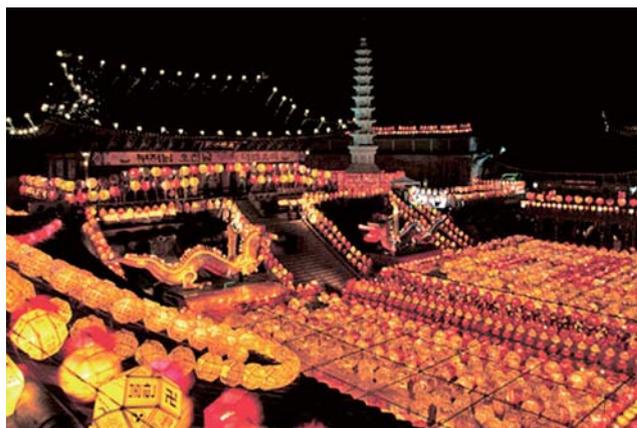
【提灯祭り】

韓国は5月になると、釈迦誕生日（旧暦4月8日）を記念し、お寺や街のあちこちに提灯が灯されます。

この提灯祭りの起源は551年の新羅時代で、知恵と光明を照らすという信仰の意味が大きく、全国各地で提灯祭りが盛大に行われていました。

しかし現在では合格、昇進、健康、幸せなど個人的な願いを叶えるために提灯をともし場合も多くなりました。

蓮華模様の提灯は釈迦生



誕日を迎えて1か月前から街の中に灯されますが、本格的な提灯祭りは釈迦誕生日の夕方から始まります。

この時は大きなお釈迦様やお地藏様などの仏教的なイメージだけでなく、人気キャラクターや代表的な伝統建築を形象化した提灯を持って街のあちこちを行進し、それぞれの願いが叶うことを祈願します。



李 京和 (イ キョンファ)

地域おこし協力隊として活動中。韓国語講座や韓国料理教室などを行っている。